

平成30年度 宮城県の入札・契約制度の概要（工事・建設関連業務）

区分	入札方式	適用工事（業務）	予定価格	履行能力 確認調査	備 考
工 事	一般競争入札				
	一般競争入札	予定価格 22.9億円以上	事前 公表	適用 調査基準 価格	・WTO案件 ・入札参加資格事前審査 ・オープンブック方式適用緩和 (総合評価落札方式 標準型の場合) (数値的判断基準適用)
	条件付 一般競争入札	特定JV対象工事 (大規模かつ技術的難度の高い工事で、技術力等を結集することにより単体企業の施工に比べ効果的な施工ができると認められる適正な範囲にとどめるもの)	事前 公表	適用 調査基準 価格	・入札参加資格事前審査 ・オープンブック方式適用緩和 (数値的判断基準適用)
		復興JV対象工事 (予定価格3千万円以上(建築一式工事は5千万円以上)の復旧・復興工事で、発注者が指定する工事(土木一式工事、舗装工事、建築一式工事に限る))	事前 公表	適用 調査基準 価格	・入札後審査方式(ダレクト型)適用 ・オープンブック方式適用緩和 (数値的判断基準適用) ・復旧・復興型混合入札・複数等級入札を適用
		単体企業対象工事（JV対象以外の工事）	事前 公表	適用 調査基準 価格	・入札後審査方式(ダレクト型)適用 ・オープンブック方式適用緩和 (数値的判断基準適用)
	指名競争入札 ※指名数は20者以上	一般競争入札が困難な工事	事前 公表	適用 調査基準 価格	・オープンブック方式適用緩和 (数値的判断基準適用)
	随意契約	【特例】250万円超えの工事 (緊急を要する工事等)	事後 公表	×	・地方自治法施行令167条の2に該当する工事
250万円以下の工事		非公表			
建設関連業務	一般競争入札				
	一般競争入札	予定価格 2億2千万円以上	事前 公表	適用 調査基準 価格	・WTO案件
	(試行) 条件付 一般競争入札	設計JV対象業務 (設計価格1千万円以上で、技術力の集結等により単体企業による業務実施に比べ効果的な業務の実施ができると認められる適正な範囲にとどめるもの)	事前 公表	適用 調査基準 価格	・入札参加資格事前審査 ・全ての入札参加者から「業務委託費内訳書」の提出を求める。 ・数値的判断基準適用
		500万円以上(測量)、1千万円以上(建コン・地質調査・補償コン・建築設計)の業務及び委員会決定された業務	事前 公表	適用 調査基準 価格	・全ての入札参加者から「業務委託費内訳書」の提出を求める。 ・数値的判断基準適用
	指名競争入札 ※指名数は10者以上	【特例】500万円以上(測量)、1千万円以上(建コン・地質調査・補償コン・建築設計)の業務(一般競争入札が困難な業務)	事前 公表	適用 調査基準 価格	・全ての入札参加者から「業務委託費内訳書」の提出を求める。 ・数値的判断基準適用
		500万円以上1千万円未満(建コン)、250万円以上1千万円未満(地質調査、補償コン・建築設計)の委員会決定された業務	事前 公表	適用 調査基準 価格	・全ての入札参加者から「業務委託費内訳書」の提出を求める。 ・数値的判断基準適用
		500万円未満(測量・建コン)、250万円未満(地質調査・補償コン・建築設計)の委員会決定された業務	事前 公表	×	・落札者から「業務委託費内訳書」の提出を求める。 (調査基準価格適用外・数値的判断基準適用外)
随意契約	【特例】100万円超えの業務 (緊急を要する業務等)	事後 公表	×	・地方自治法施行令167条の2に該当する業務	
	100万円以下の業務				

※1 原則として電子入札を適用する。

※2 総合評価落札方式の適用区分は、建設工事（建設関連業務）総合評価落札方式の手引きを参照。